

2020年12月21日

射出成形機「HHシリーズ」の大型機を販売開始

宇部興産株式会社
宇部興産機械株式会社

宇部興産グループにおける機械事業の中核会社・宇部興産機械株式会社（社長：宮内浩典。以下「宇部興産機械」）は、電動トグル式射出成形機の「HH」（ダブルH）シリーズに型締力1,300トンサイズの大型機を開発し、販売開始しました。これまでは中型機のみでしたが、1,000トン以上の大型機へ展開することで、HHシリーズの優れた性能を幅広いお客様へご提供することができるようになりました。

HHシリーズは、宇部興産機械が、2020年8月に吸収合併したU-MHIプラテック株式会社（旧三菱重工プラスチックテクノロジー株式会社）と共同開発し、2018年に販売開始した融合機です。型締力350トンから850トンまでの中型機6種類のラインアップでしたが、その後さらに技術開発を重ね、宇部興産機械が最も得意とする大型機にも展開いたしました。自動車、二輪、家電、産業資材、住宅設備など、国内外のお客様の幅広いニーズにお応えできる商品群がそろい、お客様の生産活動により一層貢献することができると考えています。

HHシリーズ（1300トン）の特長

1. 業界最速のドライサイクル

ドライサイクルを従来機より15%短縮し、業界最速を実現しました。

ハイサイクル成形により生産性向上に貢献します。

2. 業界最小の機長

全長を従来機より短くし、トグル式では業界最小の機長（12.0m）を実現しました。

設置スペースを確保しやすく、既存機からの置き換えの検討がしやすくなります。

3. 可塑化性能の向上

射出ユニット、スクリュの改良により、樹脂の可塑化能力を従来機より20%向上。

大物製品や厚肉製品の計量時間待ちの無駄が解消され、サイクル短縮が可能となります。

4. DIEPREST、AIRPRESTの進化（オプション）

高付加価値・高機能化成形技術の「DIEPREST」、金型ガス抜き成形技術の「AIRPREST」を進化させ、精密な型厚調整制御をすることで、成形品質のバラつきを低減し、より多くの製品へ展開できるようにしました。

5. IoT対応のMAC-IX制御装置（オプション）

中型機で好評をいただいているMAC-IX制御装置を標準搭載し、独立2画面の抜群の操作性、カード・セキュリティ機能を向上。IoTソリューションの工場監視、稼働実績、アラーム履歴、品質管理、品質分析に対応します。



● 宇部興産機械の概要

名称	宇部興産機械株式会社
所在地	山口県宇部市大字小串字沖ノ山 1980 番地
代表	代表取締役社長 宮内浩典
事業内容	ダイカストマシン、射出成形機、押出プレス、粉碎機、窯業機器、運搬機、除塵装置、橋梁、水門、鋼構造物等、産業用機械の製造・販売・サービス及びメンテナンス
資本金	6,700 百万円
設立	1999 年 9 月
出資比率	宇部興産(株) 100%
従業員数	1,234 人 (2020 年 12 月 1 日現在)

● 本件に関するお問い合わせ先

宇部興産機械株式会社

総務部 TEL (0836) 22-6465 FAX (0836) 22-6391

射出成形企画部 TEL (052) 618-6084 FAX (052) 618-6079